

資料3：1988年と2021年民主化運動の比較

項目	1988年	2021年	備考
相違点			
運動の推移	民政（ネーウィン体制）→反体制学生運動→8888デモ・スト→武力行使・民衆の反発→体制側の譲歩→運動の拡大・大衆化→治安の悪化、国軍部隊の投降→クーデター→武力鎮圧、2週間でほぼ正常化、公務員の職場復帰等	総選挙の実施、NLD大勝→国軍の不满、選挙の不正→NLD、選管に調査を要求→NLD、選管拒否→国会の開催→スーチー、大統領拘束→緊急事態宣言、クーデター、→反クーデター大衆運動の勃発、CPHRの設立→武力による弾圧→治安の悪化、社会的混乱	(88) 受刑囚の釈放→治安の悪化→クーデター (21) クーデター→受刑囚への恩赦→治安の悪化
運動の拡大規模	学生→大物政治家、大衆（都市部中心【農民は都市の運動に参加】）	ジェネレーションZ、一気に大衆化（農村でもデモ）	
運動の継続性	87年頃からの地下学生運動の下地、3月事件、6月事件、8888→クーデター後2週間で鎮静化。	2月1日クーデター後、約5か月以上もゲリラ的デモ等様々な形態での運動継続、「鎮静化」	(88) 学生運動の都市部での鎮圧→運動の衰退

		化」の見通し立たず。 学校・大学の再開問題。	(21) 都市部での運動の衰退⇔地方農村部では継続（今後は農村部の運動への弾圧の本格化？） 他方、地方・農村部での継続→都市部での散発的継続。
情報の伝達	国営紙、国営放送。ロコミ、紙媒体、BBC、VOA 短波ラジオ、大使館の情報収集、限定されたマスコミ。民間の新聞。	SNS、インターネット→？ロコミ、民間新聞、BBC 短波放送？ 国営紙、国営放送。	(88) 情報の遮断は、政府・企業の活動に影響なし。 (21) ネット遮断の影響は、反政府勢力だけにダメージをもたらすわけではなく経済活動

			等にも多大な影響。
メディアへの弾圧	基本的に自由なメディアは存在せず。 好ましからざる人物は、基本的に国外強制退去。	ネットの遮断。 外国人ジャーナリストも含め逮捕、投獄。	外国人ジャーナリスト逮捕、投獄の意図。北角さん解放の意図。
経済活動の質と規模	社会主義体制下、最貧国。経済の壊滅状態＝運動の伏線。 クーデター後の西側諸国を中心とする制裁等：打撃にならず。 海外からの進出企業はそもそも少ない→影響なし。 中国の接近、天然ガス→経済的「安定」「発展」	パイの圧倒的拡大、急速な経済発展(最後のフロンティア)。 海外企業の進出、拡大、援助の拡大。国際的コンプライアンスの問題。 国軍企業の経済活動拡大→海外企業の躊躇→今後影響大。 中国の援助？ ロシアの関与？	海外からの圧力は88年時と比較すると桁違い。 中国の援助だけで経済活動の維持が可能か？
社会的自由の経験	多くの人々が社会主義下の管理・監視社会しか経験なし。特に運動の主体となった学生、青年層に社会的自由の経験な	青年層は社会的自由を謳歌し、当然のこととしてきた。→クーデター→社会的自由の被脱感大→約10カ	社会的被奪理論 (Social Deprivation Theory)

	し。 軍政の登場＝ネーウ ィン体制の維持 無→有→鎮圧	月以上たつも運動 継続（バイクデモ 等新たな形態の登 場） 有→無→回復→弾 圧	少数民族反 乱軍の論理 との類似性。
並行政権の存在（民主化勢力の 結集度）	1990年12月、 KNU 支配地区で Dr.セインウインを 首班とする National Coalition Government of the Union of Burma 樹 立。 ABSDF 1998年9月、国会 議員代表委員会(10 人委員会： Committee Representing 【People's】 Parliament :CRPP) 設立。NLD 自体は 非合法化せず。	2021年2月、 CRPH 設立。 2021年4月、 NUG 樹立。 2021年5月、 PDF 結成 →CRPH、 NUG、PDF テロ 組織に認定。 →NLD の非合法 化？	2121の方が 求心力はあ るかに見え るが？ 1998の方が 実態はあっ たようにも 思える。21 年はアウン サンスーチ ー不在。 1990年は国 内的な影響 はほとんど なかった。 弾圧の口実 に利用され えた。
軍の弾圧方法	実弾→周辺部からの 弾圧→学生への弾圧	アウンサンスーチ ー→放水車・ゴム	アウンサン スーチーの 有無

	→NLD 周辺部→ア ウンサンスーチー	弾→実弾→都市部 の制圧？	
その他		コロナウィルスの 蔓延	経済活動へ の影響 経済的問題 の重み
類似点			
国軍幹部の意識	<p>強烈なエリート意識 (愚民思想)</p> <p>国軍は国民政治の唯 一の担い手 (vs.政 党【党派】政治)</p> <p>国民政治=超俗の政 治、政党政治=世俗 の政治。</p> <p>国軍司令官=王。</p>	<p>現在の幹部=88 年当時の部隊指揮 官レベル。弾圧の 経験→その 20 年 以上軍政下で甘い 汁を吸ってきた 人々 (成功体 験)。</p> <p>憲法規定：大統領 と国軍最高司令官 は同格 (軍は譲歩 したつもり) →国 家指南役 (国家最 高顧問) の存在は 許容できず。</p>	
国軍の組織原理	<p>パトロン・クライエ ント (保護・被保 護) 関係→若手将校 の反乱等は起こら ず、パトロンに付度 した情報提供→</p>	<p>パトロン・クライ アント関係→2021 年総選挙結果の読 み違い</p>	

	1990年総選挙結果の読み違い		
国軍の総選挙への姿勢	<p>約束→民主化勢力弾圧後実施→投開票については極めて自由公正な選挙の実施（読み違い）→NLDの大勝→選挙結果の反古、政党資格剥奪（但しNLDは非合法化せず）→新憲法制定作業</p>	<p>1年後に総選挙実施を約束→2年半後？</p> <p>選挙結果の無効確定</p> <p>政党登録資格・政党資金調査→政党の資格剥奪</p> <p>NLDの非合法化？</p>	<p>「フェデラル・サニツ」の意味・意図は？「憲法改正」または「新憲法制定」？</p> <p>又は、NLD非合法化の上実施？</p>
国際的反応への軍のリアクション	<p>敵味方を明確に区分。</p> <p>敵味方にかかわらず耳を傾けず。</p>	<p>ASEANの働きかけに応じるふりをするも、基本的には無視。ASEAN特使受け入れず。</p>	
対立の図式	<p>NLD 対軍</p> <p>CRPP 対軍事政権</p>	<p>NLD 対軍</p> <p>CRPH 対軍事政権</p>	<p>出口が見つからない状況。</p> <p>しかし、ジェネレーションZの動きは？</p>
日本政府の立場	<p>建設的関与</p> <p>政府承認</p>	<p>太いパイプ</p> <p>政府承認？</p>	<p>建設的関与は結局20年の軍政を維</p>

			持させただけ。「太いパイプ」の幻想。
--	--	--	--------------------

【出所】 報告者作成。